

前期基本計画 平成30年度 施策方針書

政 策 : 02 健やかで笑顔にあふれ、互いに支えあうまちを目指します

基本施策 : 05 住みなれた地域で暮らし続けられる地域包括ケアの実現

施 策 : 03 日常生活支援総合事業の適正な実施

施策担当職・氏名 地域包括支援センター長 佐藤 修子

1. 施策の実現状況を明らかにする

(1) 施策の内容

住み慣れた地域で安心して暮らし続けられるよう、多様な主体が参画しサービスを提供できる仕組みづくりを行うとともに、地域の支え合いの体制づくりを推進し、効果的かつ効率的な支援体制の構築を図ります。

(2) 施策目標値の達成状況

No	この施策に関わる施策目標指標	基準値	上：戦略目標見込値／下：達成値				目標値	進捗状況
		平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	進捗率(%)
1	暮らし 単 位 % 老後が不安なく暮らせると思っている人の割合	14.4	14.6	14.8	15	15.2	15.4	-
			15.7	16.6	0	-	-	0.0
2	幸福 単 位 % いざという時に、頼れる相手がいる人の割合	68.8	69	70	71	72	73	-
			72.5	70.8	0	-	-	0.0
	単 位							

(3) 施策を構成する事務事業及び目標値の達成状況

No	事務事業名 事務事業目標指標	推 移	平成28年度	平成29年度 (見込)	平成30年度	平成31年度	平成32年度	平成33年度	4 年 後
	単 位	目標値							
		実績							
	単 位	目標値							
		実績							
	単 位	目標値							
		実績							
	単 位	目標値							
		実績							

前期基本計画 平成30年度 施策方針書

政 策 : 02 健やかで笑顔にあふれ、互いに支えあうまちを目指します

基本施策 : 05 住みなれた地域で暮らし続けられる地域包括ケアの実現

施 策 : 03 日常生活支援総合事業の適正な実施

施策担当職・氏名 地域包括支援センター長 佐藤 修子

2. 施策の実現に向けての現状を認識する

(1) 施策目標の進捗状況分析

予防給付から総合事業へ移行するサービスについては、平成29年度に移行が完了し、介護予防・生活支援サービス事業として支援を継続的に実施しています。また、高齢者の在宅生活を支えるための様々な生活支援サービスの充実や体制整備を図るため、生活支援コーディネーター及び協議体の設置を行い、地域の課題を整理しているところです。

(2) 施策の実現に影響する社会環境変化

少子高齢化による日常生活に支援を要する高齢者の増加や独居、高齢者世帯の増加、核家族化による家族介護力の低下が見込まれます。

(3) 基本施策との関連性

地域包括ケアシステム構築に向け介護予防・生活支援の充実が求められているため、基本施策に基づく介護予防と生活支援、社会参加を一体的に融合させた地域全体としての取り組みが期待されています。

3. 施策の実現に向けての取り組みを決定する

(1) 施策の達成（実現）に向けた基本計画内の取り組みと方針

- ・介護予防ケアマネジメント(第1号介護予防支援事業)を確実に実施し、介護予防・生活支援サービス事業や一般介護予防事業の利用等につなげ、高齢者の自立の促進に努めます。
- ・様々な生活支援サービスの充実や体制整備を図るため、生活支援コーディネーター及び協議体とともに事業の推進をします。

(2) 基本計画内の取り組みと方針のうち、平成30年度の重点課題

生活支援コーディネーター及び協議体とともに地域課題を整理し、優先すべき課題、取り組むべき資源開発について共有します。

(3) 基本計画内方針及び平成30年度重点課題に基づく優先順位の考え方

自立支援に資する事業の企画や支援を優先的に行います。

